

## II章 松山市の都市づくりの課題

# 1. 松山市の現状と都市づくりの課題

## <松山市の現状>

### 【市街地の拡散及び都市機能の流出】

- ・ 市街地の拡大・拡散の進行（郊外部における人口や宅地開発、農地転用の増加）
- ・ 郊外部や周辺市町におけるロードサイド型大規模商業施設の増加

### 【中心市街地の活力低下】

- ・ 中心市街地における居住人口の空洞化が進行
- ・ 商店街の店舗数、通行量の減少

### 【ライフスタイルの変化や価値観の多様化】

- ・ 多様な居住地選択ニーズに応じた郊外部への人口拡散
- ・ 市民生活等に係わる価値観の多様化

### 【高齢者世帯、一人暮らし高齢者の増加】

- ・ 郊外部住宅地等における高齢化の進行
- ・ 一人暮らし高齢者の増加

### 【厳しさを増す財政状況】

- ・ 市街地の拡大に伴う行政サービスコストの拡大
- ・ 都市基盤や都市施設の老朽化（維持管理コストの増大）
- ・ 水資源の不足

### 【地球温暖化の進行に伴う環境配慮への要請】

- ・ 市街地の拡大等による自動車依存傾向の高まり
- ・ 低炭素社会や省資源・エネルギーへの要請

### 【災害リスクの増大】

- ・ 気候変動や自然環境の荒廃に伴う甚大な自然災害の発生

### 【自然的環境や都市の個性の喪失】

- ・ 無秩序な市街地拡散に伴う身近な自然的環境の喪失
- ・ マンション等の立地による景観悪化の発生

### 【地域づくりに係わる機運の高まり】

- ・ 観光客・宿泊客等の交流人口の低迷
- ・ 物質的豊かさから心の豊かさを重視する考え方への転換
- ・ 市民やNPO等のまちづくり活動への参画意欲の高まり

## <松山市の都市づくりの課題>

### 【都心部の機能強化】

#### ●中心市街地の活力向上

中心市街地の社会経済活動の停滞により、来街者が減少し、税収の減少等が懸念されることから、中心市街地の活力向上に向けた対応が必要です。

#### ●郊外部への大規模な都市機能の立地への対応

郊外部への大規模な都市機能の立地に伴い、中心市街地の競争力の低下が懸念されます。また、公共交通の利便性の低い地区に立地する機会が多く、自動車の依存傾向の増大により、CO<sub>2</sub>等の排出量の増加が懸念されることから、都心部への都市機能の集約化等の対応が必要です。

### 【多様な生活ニーズへの対応】

#### ●郊外住宅地における行政サービス提供に係る効率性の低下への対応

郊外部への人口拡散が進むものの、低密度で拡散した地域では、行政サービスに係わるコストが増大し、非効率なものとなるため、都市機能や基盤が整った地区への人口の維持や集約化等による対応が必要です。

#### ●高齢社会に対応した生活支援サービス充実への対応

高齢社会を踏まえ、暮らしやすさ、移動しやすさ、生きがい対策、健康増進など、高齢者の元氣な暮らしの継続を支援するサービスの充実に対するニーズへの対応が必要です。

#### ●都市基盤や都市施設の維持・更新等に対するコスト増加への対応

既存の都市基盤や都市施設の老朽化が進みつつあり、今後はその維持・更新に対するコストが急激に増加するものと予想されるとともに、不足する水資源の確保など、対応が必要です。

### 【自然環境や地球環境の保全】

#### ●CO<sub>2</sub>等の排出量削減や豊かな自然環境の喪失への対応

市街地の拡大・拡散や大規模商業施設の郊外立地等により、豊かな自然的環境の喪失や生態系への影響が危惧されるとともに、低炭素社会の実現や省資源・エネルギー化に向けた取組みが求められていることから、自然と都市の調和や、都市機能の集約化、環境にやさしいライフスタイルの普及など、CO<sub>2</sub>等の排出量削減等の対応が必要です。

#### ●災害への対応

気候変動や自然環境の荒廃、さらには大規模地震や津波発生の懸念など、自然災害リスクが増大しているため、災害予防に資する都市基盤の整備に加え、災害が発生した際に、被害を最小限に抑えるための減災・防災に資する体制を構築することが必要です。

### 【地域資源の保全・活用による地域づくり】

#### ●松山市らしい景観の喪失への対応

無秩序な市街地拡散等に伴い、松山市らしい景観の喪失が懸念されるため、これらの資源が良好な形で次世代に引き継いでいけるような対応が必要です。

#### ●市民や来訪者の松山市に対する愛着の向上への対応

市民や来訪者の松山市に対する愛着を高めるため、質の高いまちの環境・景観の創出を図り、まちの魅力を高める対応が必要です。

#### ●交流人口の減少に伴う観光地としての地位の向上への対応

四国を代表する観光地として、松山城や道後温泉本館等に代表される固有の地域資源を保全・継承するとともに、その魅力や価値を高めるための対応が必要です。

【補足】松山市の人口の現状

本市の人口は過去大幅な増加傾向にあったが、近年は微増ないし横ばいに転じている。  
 近年5ヵ年の町丁別人口動向は、中心部での人口減少と、周辺の郊外への人口流出がみられる。

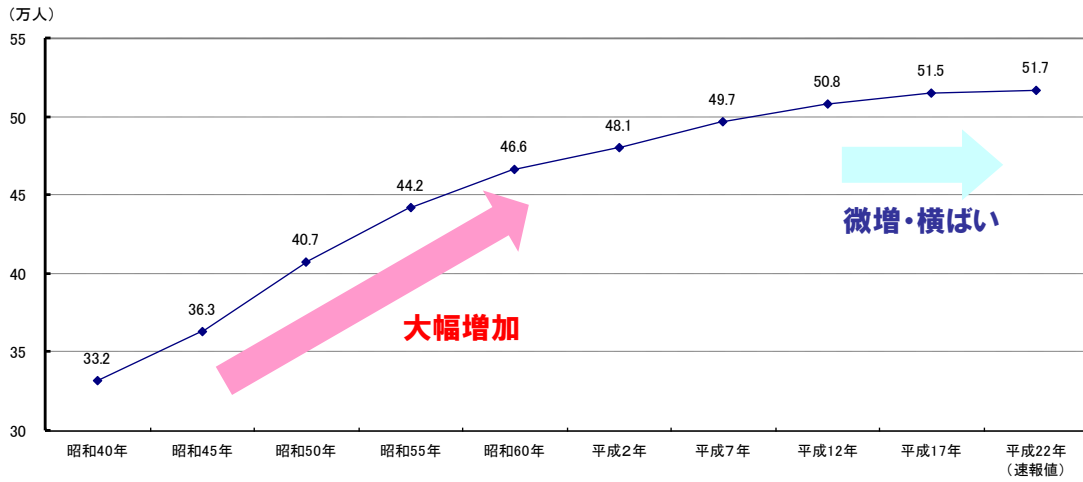


図 松山市の人口

資料: 国勢調査 (平成 22 年数値は速報値)

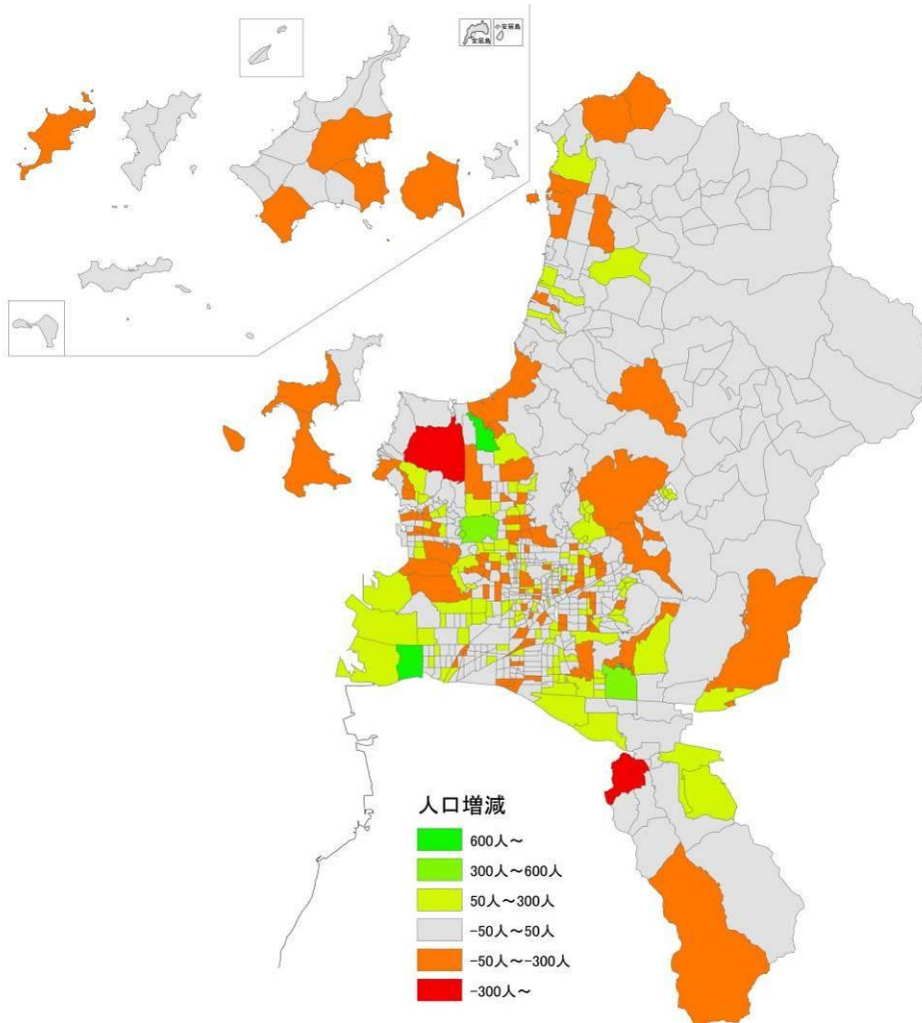


図 町丁別人口増減 (平成 17 年～平成 22 年)

資料: 国勢調査 (平成 22 年数値は速報値)